

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践を振り返り更なる業務の向上に繋げる必要がある。	職員全員で作り上げた理念を風化させないためにも、継続し理念の振り返りを行う。	1日の業務終了後、理念に沿ってケア出来たかどうかの振り返りを継続しケアの質の向上に繋げる。	1ヶ月
2	35	災害時や入居者様の事故や怪我に備え、応急手当や救急蘇生法等の講習に参加する必要がある。	消防署に救急蘇生法の講習を依頼するなど応急手当や救急蘇生法を学び、緊急時に備える。	年2回の消防立会いの避難訓練時、消防署に救急蘇生法の講習の依頼を行う。	5ヶ月
3	40	日常の食事について、入居者様の意見を反映させる必要がある。	食事の提供時、入居者様の好みや意見を取り入れ、配食サービス業者や栄養士に伝える。	毎月1回の配食サービス業者とのミーティングを行い、キッチンノートを作成し入居者様の意見や声を反映させる。	1ヶ月
4	54	各居室にエアコンの設置がなされていない為、入居者様の健康管理に不安がある。	各居室にエアコンを設置し居心地の良い環境を整える。	法人や施設環境課と相談しながら、ホーム内の適温調整に配慮してエアコンの設置の検討をする。	5ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。